

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年11月13日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870700192		
法人名	株式会社 メデカジャパン		
事業所名	結城ケアセンターそよ風	ユニット名	ばら
所在地	〒307-0001 茨城県結城市結城923-1		
自己評価作成日	平成21年7月3日	評価結果 市町村受理日	平成21年11月9日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	まだありません
-----------------	---------

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年8月3日	評価確定日	平成21年10月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

個人のペース・意思を尊重しながらも、日常の中に楽しみ、喜びを見い出して頂けるよう心掛けている。
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

全職員が利用者の個性を尊重し、その人らしい生活リズムで日常生活ができるよう、一人ひとりに応じたきめ細かいケアサービスを心がけている。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	GH独自の理念を掲げ、朝礼時に唱和し共有しているが、地域密着型サービスの意義を反映した理念ではない。	利用者の人権尊重を第一に考え、「嬉しい・楽しい・ほっとする」そんな当たり前の感情を持てる瞬間を大切に考え、安全で生き活きと生活できるように支援することを理念としている。 理念の共有を図るため毎日朝礼時に唱和し、実践に努めている。	開設当初からの独自の理念ではあるが、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念に見直すことを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会主催の夏祭り(お神輿)の休憩所として提供したり、センター主催の納涼祭に招待する等、地域住民の一員としての交流を図っている。	自治会に加入し自治会主催の夏祭りで事業所の敷地を休憩所に提供したり、事業所主催の納涼祭に地域住民を招待するなど地域と交流をしている。 年間を通して歌や踊りのボランティアや保育園児と交流するなど、地域との交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	取り組んでいない為、今後「介護なんでも相談室」等の開催を検討したい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況報告に留まる一方で具現的な取り組みの意見交換に不足の面がある。率直な意見を頂けるような関係性を築けるよう努めたい。	運営推進会議は自治会長や副会長、民生委員、市担当者、家族等の代表で2ヶ月に1回開催している。会議では事業所側の状況報告が主な内容となっており、前向きな意見が出るまでには至っていない。	事業所の改善課題や外部評価結果等を積極的に話し合うなど、運営推進会議を活かしてサービスの質の向上に努めることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課から助言を頂いている。今後、気軽に相談・連携を図れるような関係作りを心がけていきたい。	市担当者には介護保険制度の改正時に料金関係について相談をしたが、事業所の運営やケアについて意見交換するなど、協力関係を築くまでには至っていない。	事業所の運営状況などを市担当者に話す機会をつくり、協力関係を築くことを期待する。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、正しく認識しているが、利用者様の安全面での配慮から、エレベーター及び、階段前、玄関を施錠している。	身体拘束に関するマニュアルを作成するとともに、勉強会で話し合ったり、拘束や虐待に関する外部研修に積極的に参加するなど、身体拘束をしないケアを全職員が正しく理解し共有している。 グループホームが2階に位置している関係で安全面の配慮から、家族等の了解を得てエレベーターや階段の降り口は施錠しているが、中庭やベランダには自由に出入りができるようになっている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県主催の研修への参加、高齢者虐待防止法についての勉強会実施により、全職員が周知しており虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護制度について知識不足な面がある。全職員を対象とした勉強会を実施し、知識を深めていきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な時間を設け、丁寧な説明を行ない理解して頂いた上で手続きを実施している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが、活用されていない。 今後、無記名アンケート等を取り入れ、より多くの意見を頂けるようにしたい。	家族等の面会時に意見や要望を聞くとともに申し送りノートに記入し、利用者のサービスの質の向上に活かしている。 意見箱を設置しているが投函はない。	今後、無記名のアンケートを行う計画をしているので、その実現を期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度の定例会議にて、十分な話し合いの場を設けている。 又、会議以外の場でも、気軽に意見を伝えられるような関係性を築いている。	毎月1回職員定例会議を行い、管理者が職員の意見を汲みあげている。 ユニット会議を毎月開催し、管理者は職員が意見や要望を出し易い関係を築きながら、出た意見を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	必要に応じて個人面談を実施し、意識の確認や個人が抱える課題について相談できる体制を整えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修推進管理者を中心に、他職員への研修参加を促している。新入職員には、指導員をつけ、些細な事でも相談出来る様な関係の構築に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人内の事業所への研修は実施しているものの、地域内の他事業所との交流が図れていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に本人に面会し、会話・表情から受け止められる不安や心配を確認し、関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	信頼関係を構築できる様、傾聴に努め、抱える思いを理解し受容的態度に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の実情・要望をもとに、適切な社会資源サービスの情報を提供させていただいている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の得意分野・職歴に応じて、助言・指導を頂いたり、共に過ごす中でお互いに支え合い、安心して寄り添う関係を築くよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度家族報告書を送付し、情報を伝え、連絡を取り合う中で関係を深め、共に支援する体制を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前利用していた美・理容店や商店の継続利用や家族様の協力のもと、ご近所様との関係が途切れないよう支援している。	事業所の送迎や家族等の協力を得て、利用者が自宅や近所の馴染みの人と食事や散歩などができる支援をしている。 馴染みの理容店へ職員が同行し支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の関係を把握しており、他者との交流が困難な場合においても、職員の介入にて楽しく生活できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的な関係維持には至っていない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話の中から思いを探るよう努め、意思疎通が困難な方に対して、日々の表情や行動から思いを把握できるよう模索している。	職員は日常生活の中から利用者の思いや意向を汲み取り、一人ひとりの暮らし方を尊重するよう努めているが、思いや意向を十分把握するまでには至っていない。	利用開始時にフェースシートなどで利用者の性格や趣味などを記録するとともに、家族等や関係者など利用者を良く知る人々から話を聞き、利用者の思いや意向の把握に努めることを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に、ご本人・ご家族より生活背景の聞き取りを充分に行ない把握に努めている。又、入所後も日々の会話、生活の中から把握できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の能力、有する力が発揮されない場面もある為、出来ること・出来ないことを再度見極め、支援していきたい。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス会議にて職員の意見を取り入れながら、計画作成担当者を中心にプラン作成にあつたっているが、ご本人やご家族の要望を反映されていない面もある。	事業所の行事に合わせて開催する家族懇談会で家族等の意見を把握するとともに、カンファレンスで計画作成担当者が職員の意見を取りまとめ介護計画を作成しているが、利用者や家族等の要望等を反映した介護計画を作成するまでには至っていない。	利用者や家族等の意見や要望を反映させた介護計画を作成することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った記録ではなく、記録の書き方に曖昧な点がある為、勉強会を実施する必要がある。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民との連携が充分とはいえない為、今後関係の構築に努めていきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による継続的な医療を受けられるよう支援している。やむを得ず、当事業所の協力医療機関の医師に変更する場合は、十分な説明後、納得の上了承いただいている。	利用者が希望するかかりつけ医への受診を支援している。 受診は家族等が付き添う場合が多いが、家族等が無理な場合は職員が付き添い支援をしている。 歯科については適宜職員が付き添い受診をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所内に常勤で看護職員が配置されている為、常時相談できる体制が整っている。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、退院前に面会に赴き、情報収集に努めているが、早期退院に向けての連携においては、不十分な点がある。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常に利用者の現状を伝え、家族・医師と共に話し合いを持ち、対応・方針の共有を図っているが、ターミナルケアにおいては、スタッフの意識・チーム作りが不十分である。	重度化や終末期に向けた対応は、利用者や家族等との話し合いが十分ではなく、方針を共有するまでには至っていない。	重度化や終末期に向けた事業所の方針や家族等の意思確認書、マニュアルを作成するとともに、利用者が重度化した場合や終末期のあり方についてできるだけ早い段階から利用者や家族等、関係者と話し合い方針の共有を図るなど、体制を整えていくことを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行なっていないが、勉強会を実施し、知識・技術向上に努めている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内の避難訓練は実施しているが、地域の方と共に訓練を実施する計画を立てていきたい。	消防署の指導のもと、職員の役割を決めて年2回避難訓練を実施している。 災害時に備え食糧や飲料水を備蓄している。	避難訓練や災害時に地域の協力が得られるよう運営推進会議などで働きかけるとともに、協力体制づくりに取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個性と意思を尊重し、さりげない心のこもった言葉掛けや対応を心掛けている。 又、会議の場などで、振り返り確認をしている。	理念に掲げている人権尊重を第一に考え、利用者一人ひとりの個性を尊重するとともに、人それぞれに適した言葉かけを意識したり、職員会議の場で随時振り返りながらプライバシーを損ねない支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中で、ご本人の思いを受容・共感する共に、より本人の気持ちが表現しやすいよう傾聴の姿勢を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者主体のケアを目指し支援している一方で、業務の都合が優先している場合がある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の希望や個性に応じて、着衣を選んで頂いたり、理・美容においても、個別対応にて支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け・配膳・片付け等有する力を発揮し、食する楽しみだけでなく、参加する楽しみを支援している。	朝食と夕食はホームで食事を作り、利用者と職員が同じメニューと一緒に食べているが、昼食は併設のデイサービスのキッチンで作り、一部職員は利用者と一緒にメニューを食べ、一部職員は自分の好みのものを食べている。 盛り付けや配膳、片付けなどは利用者の能力を活かし職員と共に行うほか、食事の時は職員が見守り支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分共に摂取量を記録し、全職員が把握している。又、個人の嗜好品を把握しており、状況に応じ提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	チェック表を活用し清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて個人の排泄パターンを把握し誘導するなど、トイレでの排泄を支援している。	排泄チェック表を基に利用者のパターンを把握し、適切な声かけにより排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や繊維食品を多く取り入れ、薬剤に頼らない自然排便を促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴できる体制にはなっているが、業務の都合上、時間帯が決められている。 入浴剤にて色と香りを楽しんでいたが、リラックス出来るよう支援している。	毎日入浴できる体制になっており、浴室に2個の浴槽を設置し気の合う利用者同士は同時に入浴できるよう支援している。 入浴剤を使用し心地よく入浴できるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の生活習慣に合わせて静養時間を設けている。 又、夜間安眠できるよう、日中の活動量にも留意し支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤の目的・副作用において把握しきれない現状がある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の得意分野を把握しており、負担にならないよう配慮しつつお願いしている。 又、毎月ボランティアの慰問があり、意図的に非日常を作ることで、気分転換を図っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	食材の買出し同行・散歩等外出レクを多く取り入れ支援している。	週3日利用者自身の買い物も含め職員と一緒に食材の買出しをしている。 利用者と職員と一緒に事業所の飼い犬の散歩をしている。 季節に応じてドライブで紫陽花ロードや桜の花見をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の金銭管理能力に合わせて、所持して頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様の協力のもと、自由に電話での会話を楽しんで頂けるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	特別な調度品ではなく、手作りの物で装飾している。又、季節の花を飾り四季を楽しんでもらっている。換気・温度調整に留意し、より過しやすしい環境を提供している。	居間や食堂などに季節を感じるあさがおやひまわり、西瓜などの折り紙や記念写真、手作りのカレンダーを飾り心地よい雰囲気づくりに工夫している。 居間には自由に動かせるくつろぎ台やソファを配置し、ゆったり休息できる工夫をしている。 室内は換気や温度、湿度に留意し快適に過ごせるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳・ソファを設置しており、気の合う仲間同士の憩いの場が確保できている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた慣れ親しんだ物を持参して頂いている。 又、ご本人が快適に過ごせるような家具の配置を心掛けている。	居室は洋室にベッドを持ち込んだり畳部屋に布団を敷くなど、利用者の好みに応じた造りになっている。 職員は自宅で慣れ親しんだものを配置して居心地よく過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室を認識できるよう、表札を設置したり、トイレの表示もわかり易くなっている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 結城ケアセンターそよ風

作成日 平成 21年11月3日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	プラン作成において、本人・家族の要望が、反映されていない面もある。	本人・家族の意見や要望を反映させたプランの作成。	家族会・面会時に家族の意見を把握するとともに、日常の中で、利用者本人の要望を把握できるよう努める。	6ヶ月
2	1	独自の理念はあるが、地域密着サービスの意義を反映していない。	地域密着サービスの意義を反映した理念を作成。	会議を用いて、地域密着サービスの意義を再度確認し、見直す。	1ヶ月
3	23	趣味等の把握が不十分な一面もある。	個々を尊重した本人らしい暮らしの支援。	フェースシートの活用や家族	6ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。